

連合神奈川会議室とWEBで第2回福祉・社会保障政策委員会が10時より開催し、各産別の政策委員・各級議員、計48名が出席し『2025年度に向けた政策・制度要求と提言』について、重点政策にあげる項目について意見交換がされました。

高橋委員長は「委員の皆様と各級議員とで意見を出し合い、行政に届ける重要な会議体です。第1回委員会では重点項目と一般（各産別）項目について示しましたが、重点項目は行政の回答をいただけていますが、一般については出すだけで伝わっているかわからないままになってしまっています。今回は、重点のこだわることなく、一般項目からも現在必要なものがありますので、今までと違った取り組みを行いたい」とあいさつがされました。

萩原担当より、資料説明と第1回政策委員会で出された意見についてまとめ、障がい者の補装具費支給制度の所得制度を撤廃した。と状況説明がされました。

意見交換では下記の内容について発言がありました。

○障がい者グループホームの建設に地域の反対があり解説できなかったことがある。また、障がい者が近所の公園に行った時、きつい目で見られて遠くの公園を利用するなどの対応を取らざる得ない状況。政策提言ではないかもしれないが、どうか対策をしてほしい。

○障がい者の施設建設で、住民から厳しい言葉が出る。地価が下がる。治安が悪くなる。など。

○社会全体で障がい者の支援、子育て支援が必要。6.の子育て支援は全て今必要な事なので、重点には入れていただきたい。

○障害者差別解消法が改正され、本年4月より、合理的配慮の提供が義務付けされました。

○障がいの特性を本人が社会に出てから知り対応するのでは遅く子供のころから特性を知ることに対応ができるもの。

○地域医療政策で、単に医師等の増員ではなく、適材適所の人財と労働時間の削減をお願いしたい。

○所得制限により、不平等感が組合員同士で広がっている。

○子育て支援として、市町村により医療費の無償化の年齢が違う、神奈川県として統一して18歳まで無料としてほしい。県内での住民の奪い合いにならない様にしてほしい。

○神奈川県の聴覚障害の支援は両耳が対象となっている。両耳でなくても支援が受けれるようにしてほしい。

○放課後クラブについて、行政が委託している。そこにカラオケボックスが手を挙げている。これでいいのか？

○待機児童は、場所にもよってくるかと思うが、5年後には余ってくるのではないかと？

○児童虐待やヤングケアラーなどの子供たちからのSOSをどう発信してもらってつなげるか具体的にギガ端末の活用が必要ではないかと？

今回の意見を反映させて、次回、まとめたモノを示したい。として終了しました。

今回の委員会は各産別からの提言を書き出していただき分かり易かったです。多くの意見が出ていたのは、子育て支援であった。

以上